

新・解体新書

市販&手作りキャンパーを解体・検証する

誰でも作れる5ナンバー のワゴンキャンパー



オートキャンプに必要な最小限のアイテムだけを追加した5ナンバー・1BOXワゴン、それが中村さんのライトエースだ。アイデアあふれる装備品の数々に注目してみよう。



BASE MODEL=トヨタ ライトエースワゴンGXL
PRODUCTION COST=約10万円

今月の主役



中村 健司さん
千葉県船橋市在住

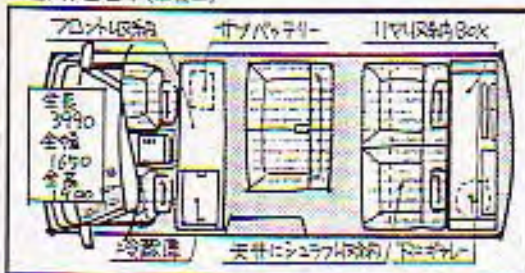
大手の家電メーカー勤務でパソコンのペラランユーザー。そして、休日ともなれば、手作りのキャンピング車で日本各地を駆けめぐる。中村さんは、そんな行動力あふれる実用派の技術人間である。



EQUIPMENT LIST

| | | | |
|------|-------|----------|-------|
| ギャレー | 1 | サブバッテリー | 70A |
| シャワー | NON | インバーター | 120W |
| トイレ | NON | コンバーター | NON |
| ベッド数 | 1 | 発電機 | NON |
| ヒーター | NON | 外部100V電源 | 1 |
| クーラー | 1 | 水タンク容量 | 総水10ℓ |
| 冷蔵庫 | 3ウェイ式 | LPG | NON |

LAYOUT (単位cm)



**HMCの仲間
の助言がモノをいう**

5ナンバーの小型費用車
を改造し、8ナンバー仕
様のキャンピングカーにすることは
素人には難しい。そこで、市販
(および手作り)キャンパーの多く
は、2、4ナンバーの貨物車を
ベースに改造を行ない、8ナンバ
ーへの登録変更を行なっている。
しかし、今回ここで紹介する中
村さんのライトエースは無改造の
5ナンバーのまま、それだけで、
写真のように、立派なキャンパー
仕様に仕上げられている。

これならば、この種のワゴン車
をお持ちの方なら、誰でも簡単に
キャンピングカーが作れるはず。
今回の取材は、その点をポイント
に記事を進めていこうと思う。

中村さんが、ベース車としてあ
えて小型のライトエースを選んだ
のは自宅の駐車スペースの問題か
ら。だが、子供も大きくなり、今
ではキャンプに行くのも夫婦二人
のことが多いため、大きな車の必
要は感じないという。また、全長
が4m未満のライトエースなら、
退出の際にフェリーの運賃が格段
で安いというメリットもある。

ところで、このコーナーではお
なじみのHMCへハンドメイド
キャンピングカークラブ/中村さ
んはこのクラブの会員でもあるの
だが、参加のきっかけになったの
が、実はこの「新・解体新書」。昨
年、11月号の「2巻読みたいだいた
いHMCのメンバー大森さん
(千葉県松戸市)に、電話帳を購
べて電話をかけたのがそもそもの
縁で、その後、仲間からのアドバ
イスを取り入れつつ、ようやく完
成したのがこのクルマである。



改造申請のやりにくい
小型乗用車も工夫次第
でキャンパーに変身!

PROFILE



1BOXワゴンの利点を 生かしてベース車のシート はそのまま利用する

INTERIOR

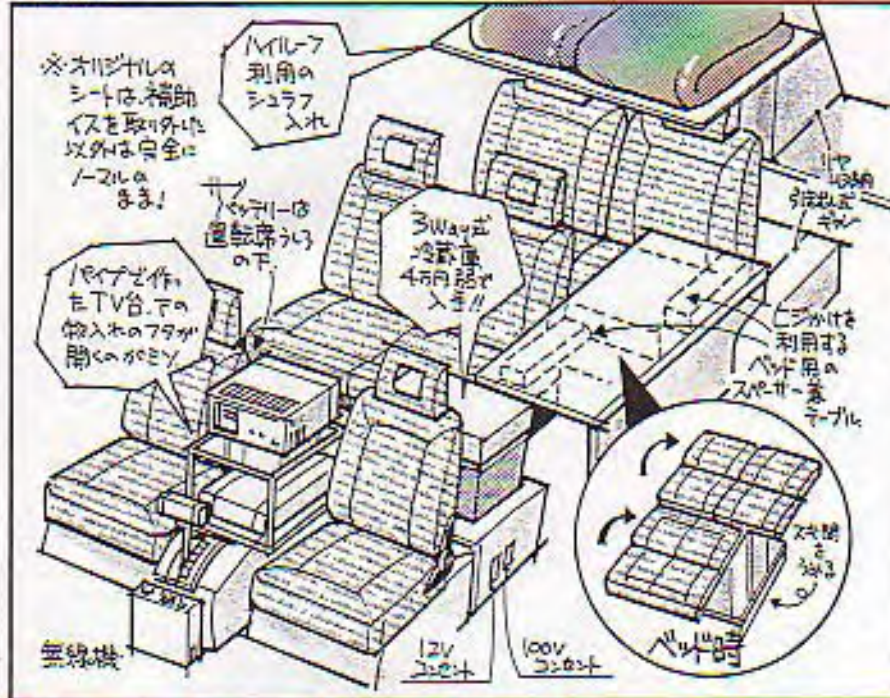
フラット時の凹凸は シユリフでカバーする

シートがそのままベッドにな
るフルフラットシートは、1
BOXワゴンならではの大きなメリッ
トのひとつ。このクルマでは、そうし
た弊害を生かして、後部シートをその
ままベッドとして使うことにしている。
ただし、フラットにした状態で多少の



↑ハイルーフの隙を生かしてシェラフの収納スペースを作
ってしまおう。たまたまを潰すだけなので簡単に行える
↑手前右に見えるのがベッドメイク用のスペース。裏サイド
テーブル、シートはまったくオリジナルのまま

室内構造



段差ができるのは、本来ベッド用のシ
ートではないゆえ致し方ないところ。
そこで、中村さんはルーフ部分にシ
ユラフの収納スペースを作っておき、
就寝時にはシートの上にこのシェラフ
を置くことで不快な凹凸をなくす工夫
をしている。ライトニースには、助手
席の後面に標準で補助シートが備えら
れているが、これはベッドメイクの際
に邪魔なので取り外し、代わりにイラ
ストのようなテーブル兼ベッド用スベ
ーサーとなるパーツを製作。シユラフ

の下にはめ込むようにしている。
出来上がったベッドスペースは夫婦
二人が横になるには十分なサイズ。身
長が180cm近く大柄な中村さんだが、
窮屈な思いをすることもなく就寝でき
るといふ。また、ベース車はハイル
ーフなので、室内でのヘッドクリアラン
スも十分に確保できる。
そして、運転席後部のエンジンスベ
ースを確保するようにして作られた収納BOXは、内部にサブバッテリーが収ま
り、上は3ウェイ式冷蔵庫の置き台と
して使われる。1BOXベースのキャ
ビンングカーでは、多くのクルマがこの
スペースを収納BOXとして活用し
ている。BOXそのものも9cm厚程度の
ベニヤと化粧板で簡単に作れるので、
時間のある方は自作でも試してみ
てはいかがだろうか。

ONE POINT 着脱自在の防虫用 ネットはこうやって 作るのだ



マグネット式のゴムと網戸の継ぎで作った防虫ネット。
夏場のオートキャンプには必需品だが、市販品は意外
と高いもの。それゆえ、自作しようとしてもマグネット
式のゴムはなかなか見つからない。中村さんの場
合も、知人がキャンプで購入したゴム板を譲って
もらい、細目に切ったうえで四角い枠型に貼り合わせた
という。あとは継ぎをボンドで接着すれば完成だ。

CARRIER

キャリアは路線バス用 の金具とパイプで作る

リヤゲートに取り付けられた
自作のサイクルキャリアは、
路線バスに使われる専用パイプの金
具と市販の25mm径ステンレスパイプと
の組み合わせで作られている。実は、
このキャリアもHMCの大家さんの
アイデアをそのまま応用したもの。経
験バス用の解体パーツは通常では入手
しにくい。このようにその道に詳しい
人を知り合いになることで、簡単に
手に入るようになるわけだ。
キャリアの上部は車体のステンレス
板を削ってゲートに引っかける。ボデ
イに穴を開け、ホルトオンで固定する
のは下部の2カ所のみで、これも簡単

に取り外しができるようになっていて、
それでいて強度は十分。下の写真のよ
うに、ルーフBOXへの足掛りとして
大人が乗ってもびくともしない頑丈な
ものである。
ルーフBOXは、これまたHMC
ではおなじみのベニヤとカリートタン
とで仕上げられた大型サイズ。作り方
は簡単で、9mmベニヤで作った枠にカ
リートタンをボンドで接着する。エッ
ジはアルミ製のL型アングルで補強し、
各コーナーや継ぎ目など雨
水の浸入しやすいところにはシリコンコーキングを施
せばいい。また、BOXの
ファタの裏には折り畳み式の
テーブルが収納できるよ
うになっている。
ただし、BOXの土台に
なっているのは市販のシス
テムキャリアで、これだけ
は残念ながら手作りとい
うわけにはいかなかった。



↑キャリアの下はホルト止めの。
車体には取り外しができる。

↑キャリアの上部にゲート
ファンを引っかける作り

↑キャリアの下はホルト止めの。
車体には取り外しができる。



雨どいと旗さおを使った
手作りの大型サイドテント
には見どころがいっぱい

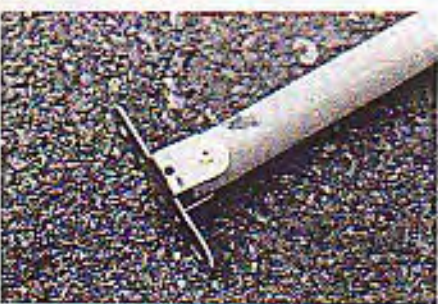
SIDE TENT

サイドテントは斜めに
収納するのが正しい

一目見ただけでは気がつかないが、このクルマのサイドテントはすべてが手作り。しかも美しくかつ機能的に作られているのだ。さて、どうやって作ったのだろうか。



テントの後端を長めに残しておいて、クリップを使ってレインガイドに挟む。シンプルながらも同様に効果的だ



旗さおを地面に立てる際のベグ打ち用金具。十字型の金具を手で曲げて、旗さおにリベット止めている

する十字型のケース。これにはアルミの板とアルミパイプ、アルミ製アングルなどを使う。そして、システムキャリアのステーを使ってボディサイドに取り付けるのだが、このとき、横から見ても斜めに収納する必要がある。こうすれば、内部に入った雨水を自然と流し出すことができる。

また、収納ケースのフタに使われているのは、なんと厚紙用の用紙。見事にハマっているのがわかる。見

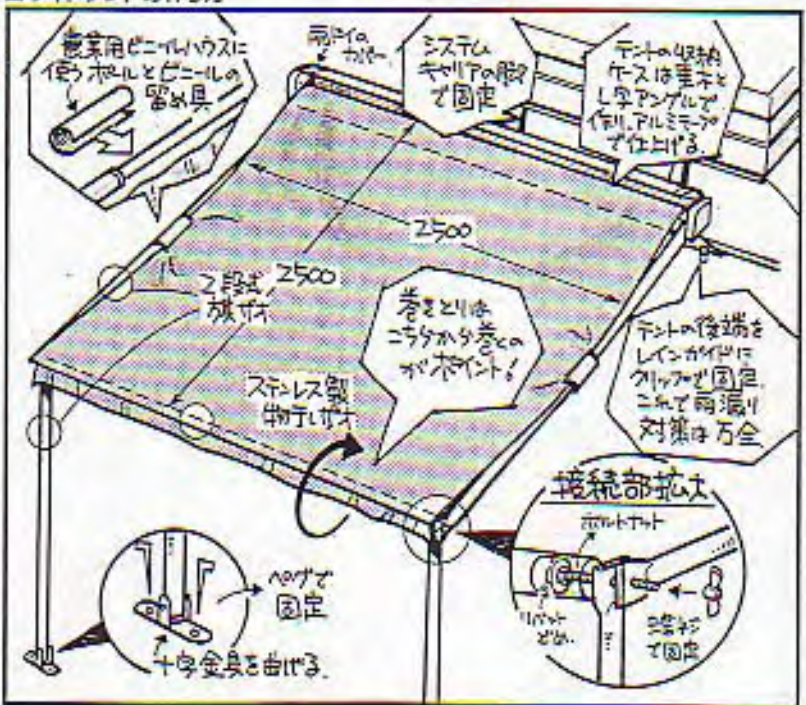


全長5mの大型サイドテント。まわりを黒布の透明ビニールシートで囲んでサファリームを作ることもできる

からないが、見事なものである。次にテント生地。専門店の小川テントまで赴き、2500mm四方の生地を切ってもらったうえで、店員を借りてテントの端を縫合してしまう。生地は綿100%。防水加工のものを使用している。

テントを差さ取るときにはステンレス製の物干しごお。クルマのボディ側からテントの先までの2本の支えになるのは旗さおだ。旗さおは既製の伸縮構造になっているので収納も簡単。テントの先から後面までにも、同様の旗さおが利用されている。

サイドテントの作り方



持ち時間も... by 中村
★ **手作り仲間!**



市販品では10万円もするサイドテントをたった1万円で作る



5ナンバーゆえ大きな改造は許されない。そこで、シート下にギャレーを配置

GALLERY

スライド式ギャレーで狭いスペースを活用

このクルマの製作にあたってのポリシーは、あくまでもベース車には改造を加えない、ということ。だから、ギャレーを取り付けるためにサイドシートを取り外すなどという行為は許されないのだ。

そこで考えたのが、スライド式のコンパクトギャレー。シート下のスペースに合わせて厚さ15cmの引き出し状のキットを製作し、中には給水タンク、おセットコンロ、そしてステンレスおけで作ったシンク等をはめ込んでいく。給水タンクは、このサイズに合うものがないため、透明アクリル板を貼り合わせて10Lのオリジナルタンクを自作している。

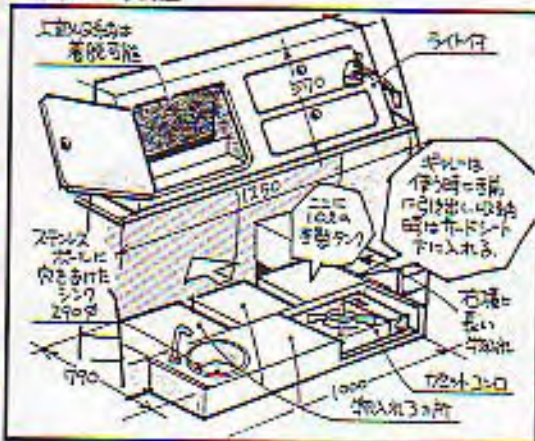


事前に引くとギャレーが出てくる。限られた空間を生かすためのアイデアだ。

えのいいものになっている。ゲート上部の緩やかなカーブに合わせてベニヤをカットするには、あらかじめ段ボールで大体の位置を合わせておいて、その段ボールを板の上に載せて切ればよい。

また、ギャレーの左右もまた収納スペースになっていて、とくに左側は間にクイアハワスを挟んでセカンダリーシートの下まで運びやすい。燃費改善の長いものを納めるのに重要だ。

ギャレーの構造



専用設計のカーブに合わせてカットされた収納BOX。車体用に簡単に取り外せる作り。

HAND MADE CAMPER CHECK & REPORT

ONE POINT

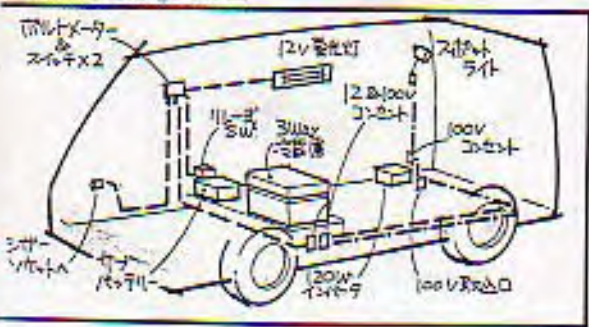
洗濯機用のお風呂ポンプには意外な使い方があったのだ



今回、アクリル製タンクの中で活躍しているのは、洗濯機にお風呂の水を入れるときに使う簡易ポンプ。このポンプは12V式なので、クルマのバッテリーでそのまま回せるうえ、高圧の水を遠くにつなぐと送水するという性質がある。しかも、逆回転で蛇口から出てくる水の勢いは送水時の約半分になるのが面白い。節水を心がけたいときには重宝するはず。

ワゴン車にギャレーを作るにはこのやり方しかない!

室内配線と充電システム



アマチュア無線の知識がモノをいこう電気配線
どんなクルマでも、ボディの中には多少の隙間があるもの。ほんの小さな隙間でも、うまく利用すれば車内配線用のコードくらいはわけなく通すことができる。
そこで、まず外部100V用の入力端子をリヤのバンパー下に取り付けてみよう。ここで中村さんが使っているのは、秋葉原などの専門ショップで扱っている二相端子とネジ式キャップ。一般の電気店では手に入りにくい部品だが、似たようなものは工夫次第で作れるはず。ここから室内2カ所に設置されたコンセントに配線する。
次に12V用のサブバッテリーは、前述のように運転席後部の収納BOXの中に隠えられていて、ここから冷蔵庫や室内照明、そしてリヤのインバーターなどに配線されている。
ただし、これはベース車のメインバッテリーのお互であり、性能的には保証できないという代物。運転席の入り口上部にポルトメーターを設置し、残

POWER SUPPLY

あなたの手作りキャンピングカーを紹介してください

このコーナーでは読者の皆さんからの情報をお待ちしています。製作したキャンピングカーの外観写真に加え、下記の宛先までお寄せください。本誌スタッフが自宅まで伺い、製作方法などを記事にさせていただきます。
●宛先：〒105-55 東京都港区新橋4-10-1 徳間書店 RVマガジン編集部 「新・解体新書」宛



★リヤバンパー下の外部100V取込口。チェーン付きのキャップと端子は秋葉原のショップで購入



★サブバッテリー用のポルトメーター。ケースはもちろん自作で、下のスイッチは室内照明と冷蔵庫用